



自動登録

自動登録は、Cisco Unified Communications ネットワークに接続した新しいデバイスに、電話番号を自動的に割り当てる機能です。この章の構成は、次のとおりです。

- [自動登録の概要 \(P.10-2\)](#)
- [自動登録の設定チェックリスト \(P.10-4\)](#)
- [複数プロトコルサポートによる自動登録 \(P.10-3\)](#)
- [参考情報 \(P.10-5\)](#)

自動登録の概要

Cisco Unified Communications Manager の自動登録を使用すると、新しい電話機をネットワークに接続したときに、それらの電話機に電話番号が自動的に割り当てられます。自動登録を使用してネットワークに割り当てる電話機は、100 台未満にすることを勧めます。

Cisco Unified Communications Manager の自動登録では、デフォルトで使用不可にして無許可でネットワークへ接続することを防止しています。自動登録を使用可能にするのは、コーディング サーブスペースやパーティションなど、ダイヤルプランの概要が判明してからにしてください。



注意

自動登録を使用可能にすると、「不正な」電話機が Cisco Unified Communications Manager に自動的に登録されるセキュリティ上の危険が生じます。自動登録を使用可能にする場合は、電話機を一括して追加する場合に限定してください。

Cisco CTL クライアントを使用してクラスタ全体のセキュリティを混合モードに設定すると、自動的に自動登録は使用不可になります。自動登録を使用しながらセキュリティを設定する場合は、Cisco CTL クライアントを使用してクラスタ全体のセキュリティ モードを非セキュアに変更する必要があります。

無許可の電話機がネットワークに接続することを防止するもう 1 つの方法では、911（緊急）と 0（オペレータ）コールだけを許可する **Rogue** デバイス プールの作成が必要となります。このデバイス プールでは、電話機の登録が許可されますが、電話機は緊急コールとオペレータ コールしか行うことができません。このデバイス プールにより、ネットワークに登録しようとして連続的にブートする電話機の無許可のアクセスが防止されます。

自動登録を使用可能にする場合、電話機をネットワークに接続したときに Cisco Unified Communications Manager が割り当てることができる電話番号の範囲を指定します。新しい電話機をネットワークに接続すると、Cisco Unified Communications Manager は、指定された範囲内で次に使用可能な電話番号を割り当てます。電話機に自動登録で電話番号が割り当てられた後では、電話機を別の場所に移動してもその電話機の電話番号は変わりません。自動登録電話番号をすべて使い切った場合は、以後 Cisco Unified Communications Manager に電話機を自動登録できなくなります。

[自動登録 Cisco Unified CM グループ (Auto-registration Cisco Unified Communications Manager Group)] チェックボックスがオンになっている Cisco Unified Communications Manager グループによって、電話機が自動登録に使用する Cisco Unified Communications Manager のリストが指定されます。グループ内で少なくとも 1 つの Cisco Unified Communications Manager が選択されている必要があります。また、選択されたリスト内の最初の Cisco Unified Communications Manager は、[Cisco Unified CM の設定 (Cisco Unified CM Configuration)] ウィンドウで [この Cisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)] チェックボックスがオフになっている必要もあります。この設定により、Cisco Unified Communications Manager が電話機からの自動登録要求を許可するようになります。

新しい電話機は、[自動登録 Cisco Unified CM グループ (Auto-registration Cisco Unified Communications Manager Group)] 設定値を使用可能に設定してある Cisco Unified Communications Manager グループ内のプライマリ Cisco Unified Communications Manager に自動登録されます。そのプライマリ Cisco Unified Communications Manager は、自動登録されたそれぞれの電話機を、デバイス タイプに応じたデフォルトのデバイス プールに自動的に割り当てます (『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「デバイス デフォルトの設定」の章を参照)。自動登録された電話機は、その設定を更新して、別のデバイス プールや別の Cisco Unified Communications Manager に割り当てることができます (P.5-10 の「デバイス プール」を参照)。

複数プロトコル サポートによる自動登録

自動登録を行うと、不明な電話機がネットワークに参加することになります。そのような電話機は不明であることから、Cisco Unified Communications Manager には新しい電話機を SIP と SCCP のどちらの電話機として登録すればよいのかがわかりません。そこで、システム管理者は Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、新しい電話機が自動登録に使用するデフォルトプロトコルを指定します。

SIP と SCCP の両方のプロトコルをサポートするシスコのデバイス（Cisco Unified IP Phone 7905、7911、7912、7940、7941、7960、7961、7970、および 7971）は、Auto Registration Phone Protocol エンタープライズパラメータで指定されたプロトコルで自動登録されます。単一のプロトコルだけをサポートするシスコのデバイスは、Auto Registration Phone Protocol の設定に関係なく、そのプロトコルで自動登録されます。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7902 は SCCP だけをサポートしています。Cisco Unified IP Phone 7902 は、自動登録を行う場合、Auto Registration Phone Protocol が [SIP] に設定されていても SCCP プロトコルを使用します。



(注)

自動登録を正しく機能させるためには、[デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウで SIP および SCCP プロトコルに正しい電話機イメージ名が指定されている必要があります。

プロトコルが混在する環境に電話機を展開するには、新しい混合電話機群を自動登録するときに追加手順を実行する必要があります。最初の手順では、管理者は [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで Cisco Unified Communications Manager の Auto Registration Phone Protocol パラメータを [SCCP] に設定し、すべての SCCP 電話機をインストールする必要があります。2 番目の手順で、管理者は Auto Registration Phone Protocol パラメータを [SIP] に変更し、すべての SIP 電話を自動登録する必要があります。

自動登録の設定チェックリスト

表 10-1 に、自動登録を使用する際の一般的な手順とガイドラインを示します。

表 10-1 自動登録の設定チェックリスト

設定ステップ	手順および関連項目
ステップ 1 [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで、Auto Registration Phone Protocol を [SIP] または [SCCP] に設定します。SCCP がデフォルトとして機能するので、SIP 電話機を登録するときは、この設定を変更してください。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」
ステップ 2 自動登録専用のコーリングサーチスペースを設定します。たとえば、自動登録コーリングサーチスペースを使用して、自動登録された電話機を内部コールに限定できます。	パーティションおよびコーリングサーチスペース (P.13-1) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」
ステップ 3 デフォルト Cisco Unified Communications Manager グループと自動登録コーリングサーチスペースを割り当てることにより、自動登録用のデフォルトデバイスプールを設定します。デバイスタイプごとに別々のデフォルトデバイスプールを設定する場合は、[デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウを使用して、デバイスにデフォルトのデバイスプールを割り当てます。	システムレベルのコンフィギュレーション設定 (P.5-1) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「デバイスプールの設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「デバイスデフォルトの設定」
ステップ 4 新しいデバイスを取り付けて自動登録する場合は、自動登録を短時間だけ（できれば、システム全体の使用量が最少のときに）使用可能にします。その期間以外は、無許可のデバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録されることを防ぐため、自動登録をオフにします。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「自動登録の使用可能化」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「自動登録の使用不可」
ステップ 5 自動登録するデバイスをインストールします。	IP Phone とゲートウェイに付属のインストールガイドを参照してください。
ステップ 6 自動登録されたデバイスを再設定して、永続的なデバイスプールに割り当てます。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ゲートウェイの設定」
ステップ 7 [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウで、Auto Registration Phone Protocol の設定値を [SIP] と [SCCP] のどちらか必要な方に設定します。別のプロトコルでさらに電話機を登録する必要がある場合は、この手順を繰り返します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンタープライズパラメータの設定」

参考情報

関連項目

- システム レベルのコンフィギュレーション設定 (P.5-1)
- SIP 回線側の概要 (P.35-23)
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「デバイス プールの設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「エンタープライズ パラメータの設定」

